

## 「齋（なすな）花さく」の巻

初澤弘文捌

よくみれば齋花さく垣根かな

松尾芭蕉

馬齢をかさね春やきぬらん

原口博子

若駒に新婦をのせて行列ぞ

手島佑郎

梅の香運ぶ風の優しき

石川望美

燈籠も浮世離れに時刻み

遠藤篤

駅のホームで売り声聞こゆ

初澤弘文

洋猫があんな所にのつそりと

二上貴夫

北の海からミサイルがくる

初澤弘文

春の雪寒のもどりやホツカイロ

赤瀬寛

桜の小径微笑む二人

伊藤季代子

温かき想い出胸に通り抜け

原口博子

舗装完成新築の家

初澤弘文 \*やまぐち亭前を見て

文音 (Facebook 上) 2012年2月26日～3月18日 満尾